

アリ之ニ等

債

方法如何

第四

一其債金

高

額ニシテ

之レテ

債ノ盗力ナキモノ

何等ノ方法ヲ以テテ所置スルヤ

第五

一官令

ハ人民令

々俗吏臨時

ノ預リ

守護スルコト

若其時窃盗ニ違証跡顯出タルモノハ

トシ人民令

ハ官ヨリ

シテ之レテ

債戻スルモ

ナラズ

第六

一前条

ニ係ル

債金ヲ課スル

ノ法ハ

豫メ其

條例ニ設

ケテ

トシテ

布告セシ

后ニ

非サレ

ハ施行スルコト

ナラズ

カモ

ハ又本屬

長官ノ

権内ニ

於テ

法

ハ

レノ所分スルコトヲ得ルマ或ハ法官審問ノ上ニ非

サレハ所分スルコトヲ能ハサルモノヤ

現今日本ニ於テ官吏ノ過失ノ懲罰スル

リ都テ官吏ノ過失ハ本屬長官ニ於テ懲戒スル

權ノ有レ其懲戒ノ法ニ三種トス第一

懲責第一罰

俸第三免職各過失ノ輕重及レ有害ノ如何ニ依テ

之レノ所分スル雖モ損害金ヲ償還セ

ル法ニテ官吏ノ職務上ニ因リ豫テ身元金

ニ徴収スル法ニテ此等回シテ参考ヲ乞

大正十一年四月
大隈侯爵書翰

政府又ハ官吏ノ過失ニ因リ人民損害ヲ被リシハ
人民ヨリ其損害ノ償ヲ政府ヘ請求スル權理

九リ英國ノ法律上ニ於テ其臣民損害ニ罹リ之レカ償ヲ國王（即チ政府）ニ請求セント欲スルモ政府自カラ之レヲ許スニヤラザレバ
政府ニ對シテ公然償ヲ請求スルヲ得サルモノトス
常ニ立法官ノ政府若クハ内閣ノ一名ニ對シ或ハ時宜ニ依リ許
可スルヲアリ譬ハ印度ノ司政ノ例ノ如キ則チ是ナリ請フ之レ
ヲ述ヘン（ダウソトリヤ）即位二十一年英ニ二十二年制定律第百
六篇第六十五章ハヤル（アムン）英國議院一定例ニ云ク印
度ノ司政ニ對シ印度ハ勿論英國ニ於テモ出訴スルヲ得ベ
シ

大隈侯爵書翰

然リ 雖豫ノ斯ル定例ノ設カレタモ時ニ於テハ法律上無
テ制定ノ手續ニ照準シテ訴訟スヘキノ特許ヲ要求シ許可ヲ得カ
ルヘカラス右手續ハ「ダグトリヤ」即位二十二年及二十三年制定
律第三十四篇ニ掲載スル所ニ係リ簡短ニ之ヲ述レハ即チ左
ノ如シ
尤ソ損害ヲ被リタル臣民ハ何等ノ損害ニ罹リテ救助ヲ乞フヤ
須ラク其事實ヲ載セタル政府ヘノ願書ヲ内務卿ニ差出し置キ
同卿ノ考案ニ供スルモノトス之レヲ「ペチシヨ」ニ送リ「ライ
云フ
内務卿若シ此願ノ趣ヲ許可セザルベカラサルモノハ決定スル
ルハ左ノ數言ヲ以テ政府ニ代リテ一篇ノ指令ヲ為スモノトス其
文ニ云ク「レツ、ライト、ビー、ドーン」(此訴ノ權アルモ)ト然レモ此指
令文ヲ以テ該願人ガ自令尔後償ヲ受クヘキノ權ヲ得シモノト

見做スベカラス此指令文ハ只此者ガ償ヲ受ケンガ為メニ証跡
顯然タル訴訟ヲ為シタルトト政府ハ好シテ此訴訟ヲ自己ト其
臣トノ間ニ法庭ニ於テ吟味ヲ受ケサルベカラズト為シ此者ニ
償ヲ付与スルトセザルトハ法庭ニ於テ法律ト其訴訟ノ由直如
何ニ依リ判決スル所ニ因テ行フモノトス但シ此訴訟ハ二三ノ
廉ヲ除クノ外(此ハ只英國裁判上ノ處分ニ係ル)并故茲ニ
詳記スルヲ要セス恰モ人民相互ニ起ルモノ、如ク處
分テラル、ナリニ三ノ廉トハ何ソヤ云ク假令テ該願人ノ方ニ
理アルモノト判決セラル、モ尚ホ公然ト裁判上ノ處分ヲ經テ
裁判通リ實施セラレシトテ政府ニ迫マルノ權ヲ有セザルヲ是
ナリ(一、民相互ニ起ル相對ノ訴訟ナリ此權ヲ有ス)
蓋シ官吏ケル裁判ヲ受ケルハ國王ノ官職ヲ汚スモノナリ是
モ又詳記スルヲ要セザルヲ明テカナリ

然リ 雖 法庭ヨリ 該願人ニ 拂フモキ 特別ノ 箇條ヲ リトス
納官吏ハ 該願人ニ 拂フモキ 特別ノ 箇條ヲ リトス
以上開陳スル所ハ 人民ニ 對スル 請求ニ 付 吟味ヲ 得シガ
為メニ 須ラク 履賤スヘキ 手續ト 方法トニ 係ルヲ 以テ 今之レニ
次クノ 問題ハ 諸請求ノ 如何ナル 性質ノ モノヲ 法庭ニ 於テ 受
理スルカヲ 左ニ 論述セン
之レヲ 概不例言スルニ 政府ニ 對スルノ 請求ハ 其請求タル 所
何人ニ テモ 政府ノ 委任ヲ 受ケ 政府ノ 為メニ 其職ヲ 表スル者
破約ノ 事ヲ 行ヒレヨリ 起ルモノナルハ 法庭ニ 於テ 之レヲ 受
理スルモノトス 若シ 其請求タル 更ニ 條約ニ 關係ナキ 事ニシテ
曾過失上ヨリ 起ルモノナルハ 法庭ニ 於テ 之レヲ 受理セザル
モノトス 取ルモ 直サス 法庭ニ 於テ ハ 條約上ヨリ 起ル所ノ 訴訟
ナレハ 其曲直ヲ 調査并別シ 其如何ニ 依テ 裁決ヲ 下スモノナリ

是ヲ 以テ 若シ 其訴訟タル 政府ノ 為メニ 取結ヒタル 何オノ 條約
ニモ 關係之レナクシテ 全ク 過失上ヨリ 起リ 更ニ 條約上ニ 關係
之レナキ一判然タルハ 法庭ニ 於テ ハ 假令セ 斯ル 訴訟ヲ 法庭
ニ 持出ス 為メ 内務卿ニ 於テ ハ 之レヲ 受理セシト 雖モ 其訴訟ヲ
裁断スルヲ 拒ムモノトス 但シ 此際 法庭ニ 於テ ハ 該願人ニ 告
ルニ 該願人ハ 曾過失上而已ノ 事ニ 關シテ ハ 政府ニ 對シ 請求
ルヲ 得サルハ 勿論 尚ホ 之レヲ 法庭ニ 出シテ 吟味ヲ 乞フノ 權理
ヲ 有セサルヲ 以テ ス
原ト 此規則ハ 英國法律ノ 一格言ニ 基キテ 成タルモノナリ 其各
言ハ 慣用ノ 語ニテ 國王ハ 一ノ 過失ヲモ 為シ 能ハス トスルカ 故
ナリ
是ヲ 以テ 若シ 政府ノ 官ニ 曾過失ヲ 犯スルハ 法律上ニ 於テ 之
ヲ 左ノ 如ク 是ハ 凡ク 政府ノ 官吏タル者 過失ヲ 犯セシ場ニ 於テ

ハ政府ノ官吏ニアテテ却テ政府ニ好ト命令トニ違背シテ
テ直道ヲ働キタル者タラハ故ニ其責ハ政府ニアラスモテ獨リ
官吏タル者ニアリテ官官ハ之レカ為トニ損害ヲ受ケタル人々
ニ對シ自カラ責ニ任スベキモノトス
故ヨリテ政府ハ其官吏下ニテ所行ヲ為セシヨリ損害ニ罹リシ
モノアルモ其責ニ任セザルモノトス齊シク又長官タル者ハ其
属官ノ等閑若シクハ過誤ヨリ損害ヲ被ムルモクアルモ責ニキ
モノタリ

假令ト如何ナル位階ハ級ノ官吏タリト雖モ其職ヲ尽クシテ主
務ヲ誤リ若クハ之レヲ尽クサスレテ主務ヲ等閑ニシタルヨリ
シテ人民損害ヲ被ムルハ犯則ノ官吏獨リ自ラ其責ニ任シ
夫他一人モ其ヲ有スルモノナシ(尤モ斯ル場合ニ於ケル特別
ノ償害法ヲ豫メ法律ニ於テ定メアルハ此限ニアラス往々

たす

英國ニハ此事アリテ獨リ償害法ヲ行フナリ)
尤モ裁判官ハ此規則外ナモノタリ凡ソ裁判官タル者ハ其裁
判事務施行ノ際事務ニ不熟練ナルカ若シクハ之レヲ等閑ニシ
タルヨリ損害ヲ生セントモ其責ニ任セザルモノトス雖
モ若シ裁判官タル者詭詐若クハ惡意ヲ用テテ所為ヲ働クカ或
ハ又或レ場合ニ於テ若シ裁判官タル者其権限ヲ越スル
而已ハ此限ニアラス
以上開陳スル所ハ此主旨ニ付現ニ英國ニ行ハルハ法律ニ係
ル
拙者訊問ヲ忝クセシ件々尚ホ前文ニ尽クサザル所ノモク以テ
カラテ依テ尚ホ左ニ論マシ
余ヲ以テ之レヲ觀ルニ人民ノ被ルタル損害ノ高ハ彼
ノ巨額ナリニモセシ小額ナルヲモセシ何レノ道法律上ノ責任

大義

ニハ變更ニシキモタリ故ニ若シ官吏自カラ償ヲ得ル
ヨリ巨額ノ金額ヲ償フ責ヲ有スルハ損害ヲ被ムリタ
者ハ其損失ハ即チ其人ノ歸セザルベカラスハ恰モ其官吏
ル官途ニ就カザル一私人タリシハ損害ヲ被リタル者即チ自
カラ損失ヲ受クルト同ナリ
抑モ官廳ニ於テ共官吏ニ償金ヲ出サシムルカ若シクハ償金ノ
高官キ自カラ償フヲ得ルニ余ルモノト雖モ之レニ應スル丈
ノ金額ヲ官吏ニ付与スルカ否ハ官廳ノ處分ニ因ル
或ル場合ニ於テハ之レヲ付与スル方至当ナルトアルレ
然ルニ之レニ及シテ一官吏ニテ自カラ責任アル者ニ過
誤上ヨリ人民ニ損害ヲ被ラシムル時ハ職ヲ免ルカ或ハ又
其出仕ノ官廳ニ於テ罰ヲ加フルモノトス
凡ソ官吏ト共出仕ノ官廳トノ間ノ關係ハ帝ニ法律上ニ依リテ

おネカ

而已取扱ハサルベシレテ以テ犯則ノ官吏ヲ其出仕ノ官廳ニ
於テ懲罰ニ處スルノ外尚之レヲシテ自カラ損害ヲ償ハサシム
ルト否ラザルトハ長官ノ權内ニアリトス(尤モ官吏ニシテ損害
ヲ償ハサシムルノ如クハ非常ノ處置ナリト余ハ信ス)
但シ長官此如何ヲ決スルハ宜シ彼此ヲ忝内ニ深ク思慮セザ
ルベカラス今其一ヲ掲レハ罪ノ淺深ト損害ヲ被ムル者ニ
償金ノ出スト否ラザルトニ應シ加フルニ懲罰ノ輕重ヲ以テス
ベシ(長官ノ決ニ依リテハ損害ヲ被ムリタル者間々償金ヲ受ケ
ザルトアリ)法律上ニ於テハ官吏過誤ヲナセバ該官吏ヲシテ
之レカ爲メ損害ヲ被ムリタル者ト法律上ノ處分ヲ以テ該官
吏ノカノ及マ夫ケ即チ該官吏ノ金カニ應スル大其損害ノ償ハ
サシムルヲ得ルレ故ニ損害ヲ被ムリタル者ニハ改定
セヨト外リ該官吏ノ無職ニ付ニハ該官吏ヲ懲罰其他ノ事ニ

六
裁
以
旨

處ス 律及(佐令、明、吏、初、過、誤、即、過、失、ハ、政、府、之)

レヲ罰スル論ハ、タ、マ、シ、ト、シ、テ、ハ、唯、正、レ

以上余カ論及スル所ハ、過、誤、即、チ、過、失、上、ノ、事、ニ、正、マ、ル、テ、此、ホ、ノ

未タ罪忘ナルモノニ及ホヤバ、ル、所、ニ、係、ル、何、ト、ナ、レ、ハ、官、吏、若、シ

罪惡ホヲ犯シ至テハ、無、論、刑、律、ノ、處、分、ニ、付、シ、之、レ、ニ、因、テ、以、テ、懲

罰セラル、モ、ノ、ナ、レ、ハ、ナ、リ

ロベルト・ゴードン